

住まいの瓦版

...NO.148...

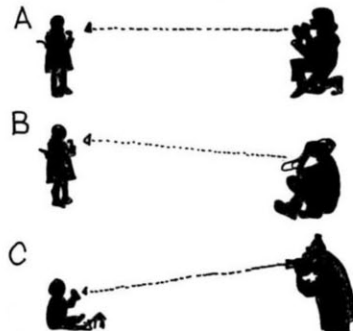
素敵な夏の思い出を撮ろう！



* 写真撮影の注意点

◆大きな建物などを背景におさめる場合、建物全体を写そうとして人物が小さくなってしまい、誰が写っているのかわからなくなることがありますよね。これを防ぐために、まず建物全体が入るように撮影者が立つ位置を決め、次に写される人物に上半身が入るくらいカメラに近寄って入ってもらいましょう。こうすれば、写っている人の表情も建物も一緒におさめることができます。

* 高さを変えて撮影しよう



A：被写体の目の高さから撮る
さまざまな背景を入れて撮影できます。まっすぐ向いているよりも、顔を傾けたりするなど変化をつけると、動きが出て楽しい雰囲気ができます。

B：下から見上げて撮る
写真に奥行き感がでます。特にズームは広角で撮ると一層効果が出ます。逆光になることが多いので、露出補正やストロボ強制発光を試してみましょう。

C：上から撮る
顔を手前にして撮影できるので、表情にポイントを当てた写真にすることができます。ただ、背景が地面や床になってしまい撮影場所がわかりづらくなることも。

* 携帯カメラで撮影する時の注意点

その① 撮影前にカメラのレンズを拭くこと！
携帯カメラのレンズにはふたがついていないので、ほこりや指紋の汚れがついている可能性が。全体が白っぽくなってしまふことがあるので撮影前に拭くことをオススメします。



その② 両手で脇をしめて撮影する
普通のカメラでも同様ですが、携帯の場合は特に片手で持って撮影する人が多く、手ブレの原因になります。手を伸ばして撮るのも失敗しやすい姿勢です。スマホのカメラでは、液晶画面のシャッターボタンを押す時ではなく、ボタンから指が離れた瞬間にシャッターが切れる仕組みになっています。「ここだ！」という瞬間に指をそっと離すと、意図通りにシャッターが切れます。写真のブレも少なくなるに違いありません。

その③ 指やストラップ位置に注意！
撮影に夢中で指やストラップが入り、せっかくの素敵な写真に影が・・・なんてことありませんか？撮影前に確認を！

リフォーム現場情報

S邸屋根葺き替え工事



老朽化して棟が波打っていたので、下地を補修して葺きなおしました

長期優良住宅・新築物件情報

U邸が完成致しました。



杉板を使用し、落ち着いたあるモダンな外観となりました。


邸が上棟致しました。



新しい の家造り

すなわちそれは古き良き時代の日本の家造り（棟梁のいた時代）

皆様の家造りをサポートする場所

 株式会社 シモダ

健康で快適な住まいを考える会・大阪

住まいの駅

〒571-0017 門真市四宮1-2-3
TEL 072-886-0311
<http://www.sumai-no-eki.jp/>